



HORI METAL LEAF & POWDER CO., LTD.

356 Daimonjijyo Nakagyoku Kyoto Japan 604-8095
Tel+81-75-231-5357 Fax+81-75-211-5357

堀金箔粉株式会社

作成日2020年11月4日

改訂日 年 月 日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : 金色塗料 Aqua Aurum(水性アクリル)
製品コード : [H0001]
会社名 : 堀金箔粉株式会社
住所 : 〒604-8095京都市中京区御幸町通御池下る大文字町356
担当部門 : [営業部]
担当者 : [林政博]
電話番号 075-231-5357 FAX番号 075-211-5357
メールアドレス : [post@horikin.co.jp]
緊急連絡先 : 担当部門：営業部 電話番号 075-231-5357
推奨用途及び使用上の制限 : [水性塗料]

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : なし
健康に対する有害性 : 急性毒性(経口) 区分外
: 急性毒性(経皮) 区分外
: 急性毒性(吸入:ガス) 区分外
: 急性毒性(吸入:蒸気) 区分外
: 急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) 区分外
: 皮膚刺激/腐食性 分類できない
: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分外
: 呼吸器感作性(固体/液体) 分類できない
: 呼吸器感作性(気体) 分類できない
: 皮膚感作性 分類できない
: 生殖細胞変異原性 区分外
: 発がん性 分類できない
: 生殖毒性 区分外
: 授乳に対する、または授乳を介した
影響に関する追加区分 分類できない
: 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) 区分外
: 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) 区分外
: 吸引性呼吸器有害性 分類できない
環境に対する有害性 : 水生環境有害性(急性) 分類できない
: 水生環境有害性(慢性) 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル : ・なし
危険有害性情報 : ・なし
注意書き : 取扱い又は使用に際し、製品安全データシート(SDS)を必ずお読み下さい。

【予防策】

- ・容器を密閉しておく。
- ・熱/火花/裸火/高温体のような着火源から遠ざけること。ー禁煙。
- ・適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。
- ・容器及び受器を設置すること。
- ・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。
- ・静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・火災を発生しない工具を使用すること。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・屋外又は換気のよい場所のみで使用すること。
- ・粉塵/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸引しないこと。
- ・環境への放出を避けること。

【対応】

- ・火災の場合には、適切な消火方法をとること。
- ・飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師に連絡すること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次ぎにコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激がつづく場合は医師の診断/手当てを受けること。
- ・皮膚(又は毛)に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。気分が悪い場合は医師連絡すること。皮膚刺激が生じた場合、医師に診断/手当てを受けること。
- ・衣服に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

【保管】

- ・容器を密閉して、涼しい所/換気のよい場所に施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物/容器を都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
- ・本製品は静電気を帯電するおそれがある。

特有の危険有害性

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物
成分及び含有量

成分名	含有量%	官報公示整理番号 (化審法)	CAS No.
樹脂	25.0-35.0	登録あり	登録あり
水	55.0-65.0	対象外	7732-18-5
アルミニウム	<1.0		7429-90-5
顔料(混合物) ※	10.0-20.0	
添加剤 ※	<1.5	登録あり	登録あり

※: 危険有害性に関与しない。

4. 応急処置

- 吸入した場合** : 新鮮な空気のある場所に移動させ、安静・保温に努め必要に応じて医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合** : 多量の水を用いて洗い流し、炎症を生じた時は、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 目に入った場合** : 直ちに清浄な水で15分間以上洗浄した後、必要に応じて眼科医の診断を受ける。
コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。
- 飲み込んだ場合** : 安静にして直ちに医師の診断を受ける。口をすすぐこと。
- 予想される急性症状及び
遅発性症状** : 吸入により呼吸器への刺激、咳、めまい、咽頭痛、意識喪失。
皮膚に対して刺激、脱脂、発赤。
眼に対して刺激、発赤。
飲み込みにより胃腸の刺激、吐き気、嘔吐、下痢。

- 最も重要な徴候及び症状 :
 応急処置をする者の保護 : 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
 医師に対する特別注意事項 : 情報なし。

5. 火災時の処置

- 消火剤** : 小火災: 二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤
 大火災: 散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤
- 使ってはならない消火剤** : 棒状注水
- 火災時の特定危険有害性特有の消火方法** : 一酸化炭素等を発生するおそれがある。
 散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。
 大規模火災には、泡消火器を用いて空気を遮断する。
 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
- 消火を行なう者の保護** : 消火作業は、風上から行い保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。
 特に有毒なガスの吸入を避ける。

6. 漏出時の処置

- 人体に対する注意事項
 保護具及び緊急時措置** : 作業には、適切な保護具(8、暴露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
 直ちに全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
- 環境に対する注意事項
 回収、中和** : 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
 こぼれた場合は液の拡散を防止し流出物をすくい取るか、適当な吸収剤を使用して密閉できる空容器に回収する。(吸収剤: おがくず、土、砂、ウエス等)
- 封じ込め及び
 浄化方法と機材** : 危険でなければ漏れを止める。
 漏出物を取り扱う時に用いる全ての設備は接地する。
- 二次災害の防止策** : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。
 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い**
- 技術的対策** : 『8、暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
 静電気対策のため、装置、機器等の接地を確実にこなう。
 作業服、作業靴は、導電性のものを用いる。
- 局所排気・全体廃棄
 安全取扱い注意事項** : 『8、暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体排気を行なう。
 取扱い場所は、火気厳禁とし、高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。
 換気の良いところで取扱い、使用後は容器を必ず密閉する。
 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を使用する。
 漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
- 接触回避** : 『10. 安定性及び反応性』を参照
- 保管**
- 技術的対策** : 保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、且つ、梁を不燃材料で作ること。
 保管場所の床は危険物が浸透しない構造とするとともに適切な傾斜をつけ、且つ、適切な溜め枘を設けること。
- 保管条件** : 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。—禁煙。
 容器は直射日光を避け、冷所、換気のよい場所に容器を密閉し、施錠して保管する。
 酸化剤から離して保管する。
- 混触危険物質
 容器包装材料** : 『10. 安定性及び反応性』を参照。
 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。
 軽金属とその合金、ゴム、合成樹脂を侵すので使用を避ける。

8. 暴露防止及び保護措置

組成物質の管理濃度
及び許容濃度

物質名	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH(TLV)
アルミニウム			1mg/m ³

設備対策 : 取扱い設備は防爆型を使用する。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
密閉された装置、機器または局所排気をしなければ取り扱ってはならない。
取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具 : 送気マスク、空気呼吸器、酸素呼吸器、有機ガス用防毒マスク
手の保護具 : 不浸透性保護手袋
目の保護具 : 側板付保護眼鏡(必要によりゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具 : 保護長靴、保護作業服
適切な衛生対策 : マスク等の吸着剤の交換は定期または使用の都度行なう。

9. 物理的及び化学的性質

外観 : ゴールド色液体
臭い : 特徴的な臭気
pH : 7.0-9.0(25℃)
融点/凝固点 : データなし
沸点 : 約100℃
引火点 : データなし
発火点 : データなし
爆発範囲 : データなし
蒸気圧 : データなし
蒸気密度(空気=1) : データなし
比重(密度) : データなし
溶解度 : 水に可溶
オクタノール/水分配係数 : データなし
分解温度 : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性 : 室温では安定
通常の取り扱いにおいては安定である
危険有害反応性可能性 : 知見なし
避けるべき条件 : 酸性物質
混触危険物質 : 酸性物質
危険有害な分解生成物 : 燃焼時に有毒なガスが発生する恐れがある。

11. 有害性情報

成分の健康有害性情報 情報なし

12. 環境影響情報

生殖毒性 : 混合物としてのデータなし
残留性/分解性 : 混合物としてのデータなし
生体蓄積性 : 混合物としてのデータなし
土壤中の移動性 : 混合物としてのデータなし

13. 廃棄上の注意

内容物、容器を廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
容器、機械装置等を洗浄した廃液等を地面や排水溝へそのまま流さないこと。
廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行なうか、委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 該当なし
国連輸送名	: その他の引火性液体(他の危険性を有しないもの)
国連分類	: 国連の定義上、危険物に該当しない。
容器等級	: 規制されない
陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法、毒劇法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている運送方法に従う。
注意事項	: 7、取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。 運搬に際して、容器・包装に漏れの無いことを確かめ、転倒・落下・損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にこなう。

15. 適用法令

労働安全衛生法	: 名称等を通知すべき危険物及び有害物 知見なし 名称等を表示すべき危険物及び有害物 知見なし
PRTR法	: 非該当
消防法	: 非危険物
毒劇法	: 非該当

16. その他の情報

参考文献	1) 社団法人 日本化学工業協会 : 製品安全データシートの作成指針(改訂2版) 2) 社団法人 日本塗料工業会 : モデルMSDS・モデルラベル事例集[混合物(塗料用)] 3) 安全衛生情報センター : GHSモデルMSDS情報 4) 中央労働災害防止協会 : GHS対応による混合物(化学物質)のMSDS作成手法の研修テキスト(改訂版)
------	---